

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	“音楽の風を白馬に” ロビーコンサート推進事業
事業主体 (連絡先)	Hakuba Music Support Association 長野県北安曇郡白馬村北城 2869-1
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	597,979 円 (うち支援金：427,000 円)

事業内容

令和元年度7月に開催した『NAGANO 国際音楽祭 in 白馬』に加え、5月～11月にかけて、白馬村役場ロビー(7回)、JR 白馬駅(1回)、JR ふるさとビュー(1回)、神城メディア(1回)計10回のロビーコンサート(列車内コンサート含む)を実施。

参加者数：延べ920人(内村民800人)
(『NAGANO 国際音楽祭 in 白馬』を合わせると1320人内：小中高生200人)

協働参加者数：延べ80人。

JR 東日本長野支社の協力を得て観光客向け告知も実施。地域住民や近隣市村、国内外演奏者との連携や協働も叶い、村民や観光客のみなが常に身近で良質な音楽に親しめる白馬村を創出できた。



【ロビーコンサートの演奏風景】

【目標・ねらい】

- ①良質な音楽への身近なふれあい。
- ②子供達の情操教育と音楽芸術に対する資質の向上。
- ③若手演奏家の発見や育成。
- ④村内外の人的交流の増加(誘客などを含む)。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

『NAGANO 国際音楽祭 in 白馬』の入り込み数に加え、より身近で体感できるロビーコンサートの実施により村民が良質な音楽に触れ、親しめる機会が増えた。

『NAGANO 国際音楽祭 in 白馬』の入り込み400人+ロビーコンサート920人

数的根拠：白馬村役場延べ720人、JR 白馬駅&ビュー160人、神城メディア40人)

白馬ケーブルTVでは、『NAGANO 国際音楽祭 in 白馬』コンサートの録画が番組として複数回放映された。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・本事業のロビーコンサートには、延べ800人余の村民が参加。
- ・白馬および近隣市村の優秀な若手演奏家発見と協働を達成。
- ・老人介護施設等訪問演奏を達成。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

白馬村、白馬村観光局、JR 東日本白馬駅、JR 東日本長野支社、神城メディア(老人施設)、『NAGANO 国際音楽祭』実行委員会(代表：中澤宗幸氏)等関係者との連携、協働を持続させ、白馬村内のみならずクラシック音楽の魅力を広域に伝える活動を展開する。

令和2年度、JR 東日本長野支社では、本事業の成果を踏まえ、リゾートビューふるさと車内演奏会を2回、白馬⇔大町間をさらに延伸して行いたいとの意向である。

また、白馬村内における支援者を増やし、活動支援と財源支援の両面からより積極的なサポートが得られ事業が自立できるようにしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある